

第 1 章 倉敷市の概要

1. 位置及び地勢 -----	1
2. 市 勢 -----	2
3. 市制の沿革 -----	2
4. 地区別の人口・世帯数・面積 -----	3
5. 人口及び世帯数の推移・1世帯当たりの平均人数 -----	3

第1章 倉敷市の概要

1. 位置及び地勢

倉敷市は岡山県の南部，岡山平野の西部に位置し，東部は岡山・玉野の両市に，北部は総社市に隣接している。

市域は県下三大河川の一つに数えられる清流豊かな高梁川が瀬戸内海に形成した沖積平野と，その背後地である緩やかな丘陵で成り立っており，高梁川とこの丘陵によって倉敷・水島・児島・玉島・船穂・真備の6つの地区に分かれている。



東 経	北 緯	面 積
133度46分19秒	34度35分06秒	355.63 km ²

2. 市勢

本市は、旧倉敷市、旧児島市、旧玉島市の3市が、昭和42年2月に合併して、新しい「倉敷市」として誕生し、その後、昭和46年に隣接の庄村を、翌47年に茶屋町を編入して市域を拡大した。

この間、昭和30年代後半から40年代にかけての水島臨海工業地帯の順調な成長に伴い、都市基盤も急速に整備され、岡山県南産業都市の雄都として、また、東瀬戸広域経済の中核都市として大きく発展を遂げてきた。また、一面において往時を偲ぶ倉敷川畔の白壁土蔵づくりの町並みは、心のふるさととして万人に愛される格調ある町として知られている。

また、平成14年4月には中核市となり、平成17年8月には船穂町、真備町と合併し、市民サービスの向上、地域の特性に応じた個性ある町づくりの推進などを通じて「安心して暮らせるまち」の実現に向けて取り組んでいる。

3. 市制の沿革

年 月 日	旧倉敷市	旧児島市	旧玉島市
昭和3年4月1日	市制施行 倉敷市	市制施行 児島市	市制施行 玉島市
昭和5年8月1日	福田町の一部編入		
昭和19年1月1日	中洲町編入		
昭和23年4月1日			
昭和25年9月1日	粒江村編入	琴浦町と合併 郷内村の一部編入	長尾町編入 黒崎町編入 富田村編入
昭和26年3月28日	菅生村編入		
	中庄村編入		
	帯江村編入		
昭和27年1月1日			
昭和27年4月1日	豊洲村の一部編入		
昭和28年1月1日	西阿知町編入		
昭和28年2月11日			
昭和28年4月1日			
昭和28年6月1日	福田町編入		
昭和29年12月1日	連島町編入		穂井田村の一部編入
昭和31年4月1日	藤戸町編入		
昭和34年3月31日			
昭和42年2月1日	倉敷市・児島市・玉島市が合併し、新市名「倉敷市」となる		
昭和46年3月8日	庄村編入		
昭和47年5月1日	茶屋町編入		
平成13年4月1日	保健所政令市移行		
平成14年4月1日	中核市移行		
平成17年8月1日	船穂町、真備町編入		

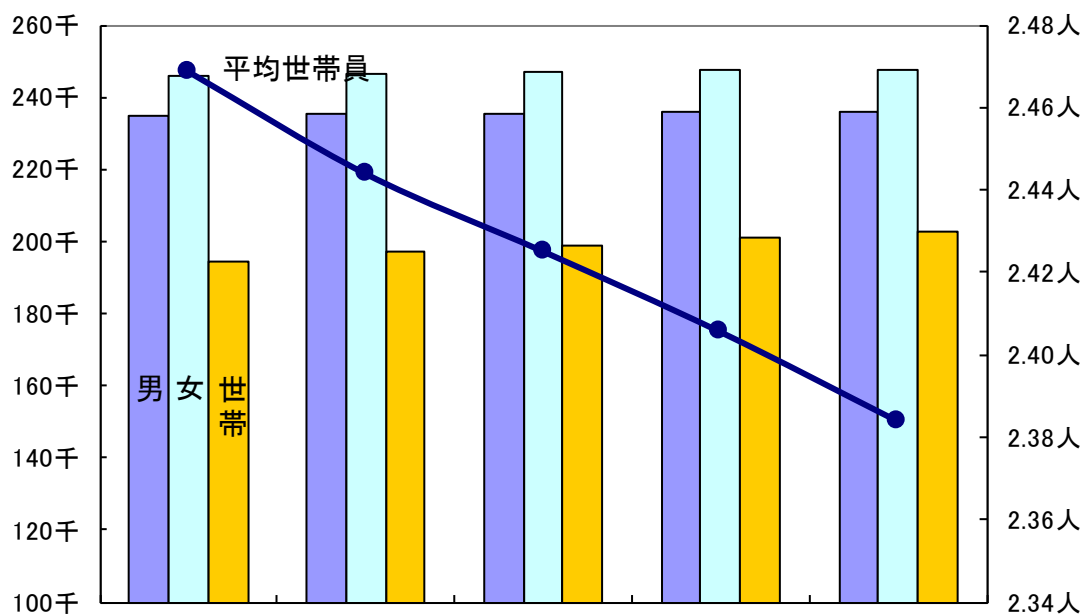
4. 地区別の人口・世帯数・面積

(平成27年3月31日現在)

地区名		男(人)	女(人)	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
倉敷地区	庄地区	7,360	7,928	15,288	6,377	13.84
	茶屋町地区	7,919	8,399	16,318	6,230	5.25
	旧倉敷地区	94,375	101,410	195,785	82,280	旧倉敷＋ 水島＝ 140.80
	小計	109,654	117,737	227,391	94,887	
水島地区		45,457	43,919	89,376	39,285	
児島地区		34,512	37,150	71,662	30,705	80.33
玉島地区		31,461	33,272	64,733	26,555	60.35
船穂地区		3,634	3,804	7,438	2,782	10.87
真備地区		11,145	11,792	22,937	8,613	44.19
全市計		235,863	247,674	483,537	202,827	355.63

※ 面積は、平成26年10月1日現在

5. 人口及び世帯数の推移（棒グラフ）・1世帯当たりの平均人数（折れ線グラフ）



		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
人口	合計	480,397人	481,723	482,456	483,134	483,537
	男	234,568	235,308	235,539	235,661	235,863
	女	245,829	246,415	246,917	247,473	247,674
世帯数		194,589世帯	197,104	198,936	200,833	202,827
平均世帯員		2.47人／世帯	2.44	2.43	2.41	2.38